

# 企業会計

## (原価計算 変動費／固定費)

### 5 回目

オムロンエキスパートリンク

圓井

2 0 2 0 - 1 1 - 1 1

決算書を適正に作成するための「きまり」について学びました。

## 現金主義と発生主義

会社法第431条において「**株式会社の会計は、一般に公正妥当と認められる企業会計の慣行に従うもの**」と定められている。  
一般に公正妥当と認められる企業会計の慣行の一つが**企業会計原則**。

この他に

財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則（内閣府令）

US GAAP（米国会計基準）

（US Generally Accepted Accounting Principles）

IFRS（国際財務報告基準）

（International Financial Reporting Standards）

# 前回の復習(2)

1. 真実性の原則
2. 正規の簿記の原則
3. 資本取引・損益取引区別の原則
4. 明瞭性の原則
5. 継続性の原則
6. 保守主義の原則
7. 単一性の原則

# 前回演習の解答例

1. 発生主義とは、何ですか？

お名前( )

**現金の収入や支出に関係なく、経済的事象の発生または変化に基きその時点で収益または費用を計上しなければならないとするもの。**

2. 継続性の原則とは、何ですか？

**企業会計は、その処理の原則及び手続を每期継続して適用し、みだりにこれを変更してはならないとする原則。**

3. 会計処理を変更できるのは、どのような場合ですか？

**会計処理の前提となるような事実に変更があった場合や変更した方がより正しく会社の財政状態・経営成績を表示することになるような場合など合理的な理由がある場合。**

4. 保守主義の原則とは、何ですか？

**企業の財政に不利な影響を及ぼす可能性がある場合には、これに備えて適当に健全な会計処理をしなければならない。**

5. なぜ、保守主義の原則は必要ですか？

**投資家保護、債権者保護の観点から、将来の損失が見込まれる場合は、実際に確定するのを待たず速やかに損失処理して、健全な財政状態を保つため。**

# 前回の質問等

Q1 京都にはオムロンのほかに、京セラ、ローム、日本電産、島津製作所、堀場製作所（敬称略）など、多くのものづくり企業がありますが、歴史的になにか理由があるのでしょうか。

Q2 会計基準の違いで、百貨店の売上高が半分以下になることに驚きました。在庫の管理リスクの他にも、日本基準では売上と認められても、IFRSでは売上に認められないことがありますか。

Q3 ANAやJAL等、現在厳しい状況下に置かれている企業や、今後将来性が明るくない業界には（素人の考えとしては）誰も投資したくないと思うのですが、その場合、増資は銀行からお金を借りることでしか得られないのでしょうか？それとも、投資してくれる人はいるのでしょうか？

Q4 オムロン様はアメリカで上場していないが、海外の投資家の基準になるようにU S G A A P 規則もクリアしているとのことでしたが、海外で上場していなくても海外の投資家は株が買えるということですか？日本で売買をするということでしょうか？

Q5 演習問題3の、「変更ができる合理的な理由」の具体例があまり思いつきませんでした。またよろしければ、教えてください。

Q6（授業内容とは関係ない個人的な質問ですみません）企業会計の授業ですが、第二回目の授業で挫折しかけました（簿記の知識がないため）。が、それ以降はなんとか食らいついて楽しく勉強できています。今まで避けてきた分野の勉強でしたが、面白くなってきたので、せっかくなら資格試験など、形に残るもので成果を出したいと思えるようになりました。この企業会計の授業と関連するような、アフターコロナの時代にも必要と思われる資格やおすすめのものがあれば教えてほしいです。既にFP2級は取得済みで、簿記2級も検討中です

Q7 グリコ・森永事件は、やはり株価操作のためだったと先生は思われますか。

C1 IFRSの方が明確、且つ的確な財務諸表だと思った。日本基準は数字の積重ねに見える。相殺したり、項目を集約しているIFRSを日本企業にも統一基準として義務づけることが望ましいと思う。国際化や公正な比較が可能な財務諸表の為にも統一は必要である。

C2 自動車の残価償却率は2年で1/2 3年で1/3 4年で1/4、、、と習ったことがあるのですがこれは技術革新が速いものなので定率法で計算しているのだと改めて理解できました。

C3 オープンの減価償却費の考え方が面白かったです。

C4 減価償却費や機械や装置に耐用年数があることを初めて知りました。発生主義の考え方は、パン屋さんのチーズパンの説明で「なるほど！」と思いましたし、イメージしやすく、楽しく学ぶことができました。

C5 前職で固定資産登録をしていましたが、初めて減価償却の意味（費用化しながら残高を計算する）がわかりました。パン屋さんの例えわかりやすかったです。

## 原価計算について理解する

そのために

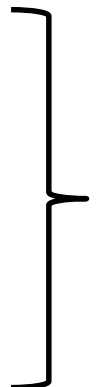
1. 原価の構成要素
2. 変動費／固定費
3. 損益分岐点

を、理解しましょう。

# 原価とは、

原価とは、  
商品やサービスを生産するために必要となる金額。

## 原価の要素（製品の原価を構成する要素）

1. 発生形態による分類
  2. 製品との関わり度合による分類
  3. 生産量（操業度）との関係による分類
- 



# パン屋さんの原価計算（前提条件）

食パン 30斤 とたまごサンド 50個（10斤相当）を生産

## 【生産工程】

食パンを40斤生産、内10斤にたまごをはさんで、たまごサンド50個を生産

## 【材料】

小麦粉	10Kg	4,000円
たまご	25個	500円（卵サンド用）

## 【人件費】

1人 時給 2,000円 3時間  
（食パン生産2時間、たまごサンド生産1時間）

## 【経費】

光熱費 200円（オーブンの使用がメインとする）

## 【償却費】

オーブン 300万円（10年償却）、1日分の償却費（稼働日100日）

## 【製造間接費】

建物など＋生産管理など 3,000円(1日分)（計算の便宜上食パンに賦課）

# パン屋さんの原価計算（食パン）

食パン 40 斤

【材料】

【人件費】

【光熱費】

【償却費】

【製造間接費】

合計

1斤は、

# パン屋さんの原価計算（たまごサンド）

**【材料】**

**【人件費】**

**合計**

**たまごサンド**

**1個は、**

# 変動費と固定費(1)

**変動費とは、生産量に応じて増減する費用**

**固定費とは、生産量に応じて増減しない費用**

**生産しなくても発生する費用**

**パン屋さんの例を、変動費と固定費に分類してみましょう。**

**変動費**

**固定費**

**微妙なのは、人件費**

**生産を増やすために、時間が追加的に必要であれば 変動費**

**今回は、オーブンで焼いている時間をボーと待っているので  
その時間を使って生産量を増やせると考えて固定費とします。**

# 変動費と固定費(2)

## 変動費：

小麦粉	食パン40斤	10Kg	4,000円
たまご	たまごサンド50個	25個	500円
光熱費	食パン40斤		200円

## 固定費：

人件費	食パン40斤	2時間	4,000円
	たまごサンド	1時間	2,000円
償却費		1日	3,000円
製造間接費		1日	3,000円

# 変動費と固定費(3)

食パンだけでみると

**変動費：**

小麦粉 食パン40斤 10Kg 4,000円

光熱費 食パン40斤 200円

40斤当たり  
4,200円

**固定費：**

人件費 食パン40斤 2時間 4,000円

償却費 1日 3,000円

製造間接費 1日 3,000円

合計  
10,000円

# いくらで売ればいいでしょう

原価

変動費 食パン40斤 4,200円

固定費 10,000円

1斤当たり  $355円 = (4,200 + 10,000) \div 40$

高すぎて売れない??

でも、安くすると赤字!

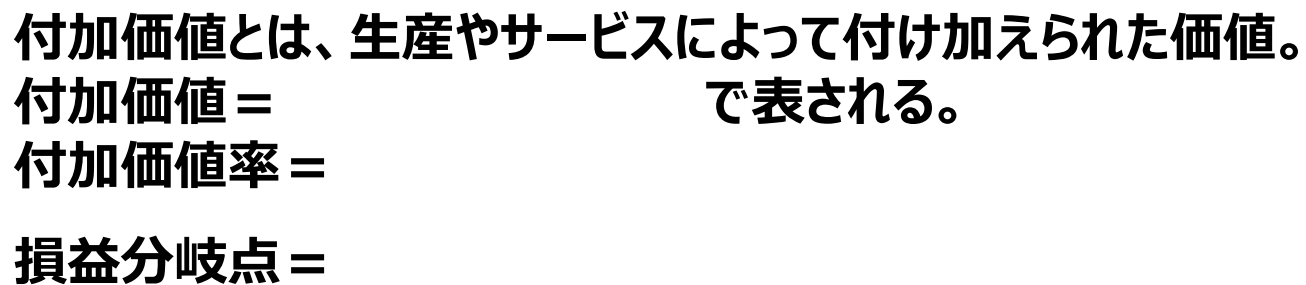
300円で売るためには、どうすればいいでしょう。

といったことが考えられます。

今日は、

で利益を出すことを考えます。

**OMRON** オムロンエクスパートリンク株式会社





食パン	40斤	
変動費	4,200円	(1斤当たり 105円)
固定費	10,000円	
売価	500円	(1斤当たり)

### 1斤当たりの付加価値（売価－変動費）は？

**10,000円の固定費を、1斤当たりの付加価値  
回収するためには？**

**= 10,000円 ÷ 円**

従って、**100kg生産すれば黒字化できる。**

検証  $300\text{円} \times \quad \text{斤} > 105\text{円} \times \quad + 10,000\text{円}$   
 $\text{円} > \quad \text{円}$